

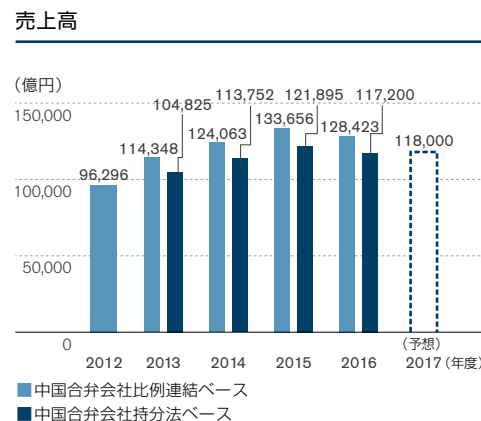


2016年度財務実績および2017年度業績見通し

2016年度 財務実績 (中国合弁会社持分法ベース)

売上高

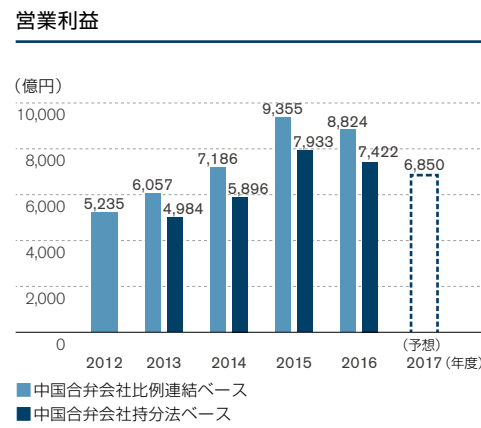
2016年度の連結売上高は、前年比3.9%減の11兆7,200億円となりました。



営業利益

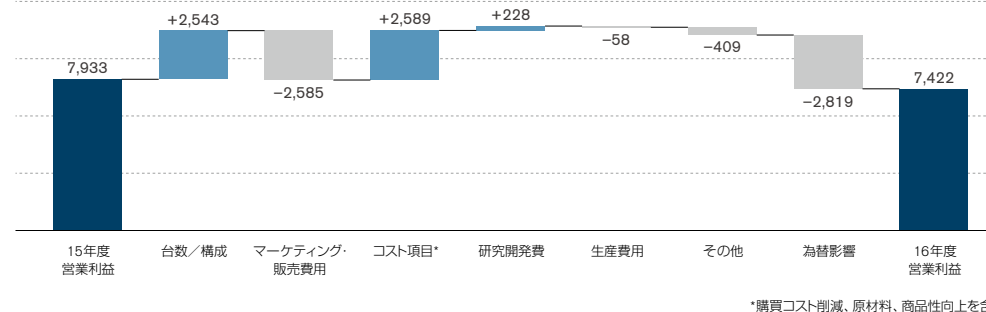
2016年度の連結営業利益は、前年比6.4%減の7,422億円となりました。増減の要因は以下の通りです。

- 台数および車種構成は2,543億円の増益要因となりました。
- 販売費用の増加は、2,585億円の減益要因となりました。
- 購買コストの削減、原材料価格の下落、商品性向上に関わる費用を含むコスト項目は、全体で2,589億円の増益要因となりました。
- 研究開発費は228億円の増益要因となりました。
- 生産コストは58億円増加しました。
- その他項目は409億円の減益要因となりました。
- 為替変動による減益は2,819億円になりました。



営業利益増減要因分析

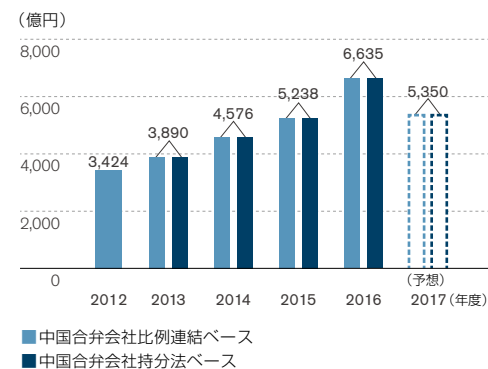
(億円)



当期純利益

当期純利益は6,635億円となり、前年度の5,238億円から1,397億円の増加となりました。

当期純利益





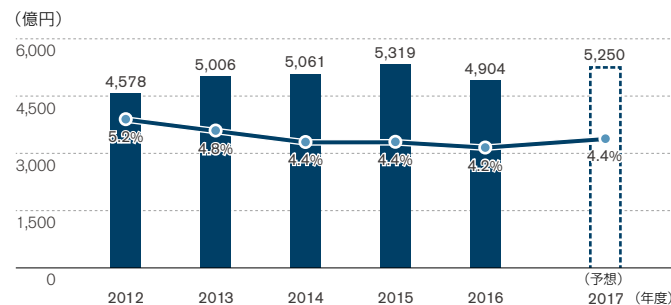
販売金融部門

販売台数の増加に応じて、2016年度の販売金融事業の総資産は前年度の9兆7,199億円に比べ8.8%増加し、10兆5,705億円となりました。また、営業利益は前年度の2,321億円に比べ、2016年度は1,839億円となりました。

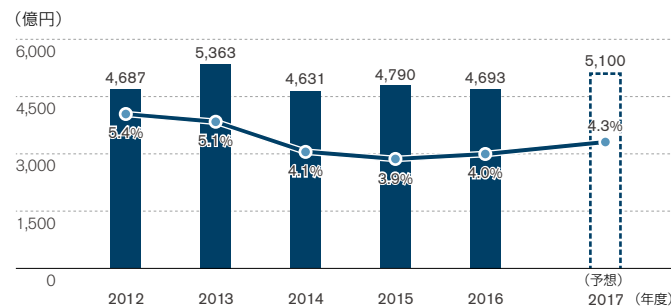
将来への投資

2015年度、当社は、将来の競争力維持のための投資を行いました。設備投資は4,693億円となり、売上高比4.0%となりました。新技術および新製品開発のための研究開発費は4,904億円となりました。

研究開発費



設備投資



■ 中国合併会社持分法ベース ● 売上高比率 (中国合併会社持分法ベース)

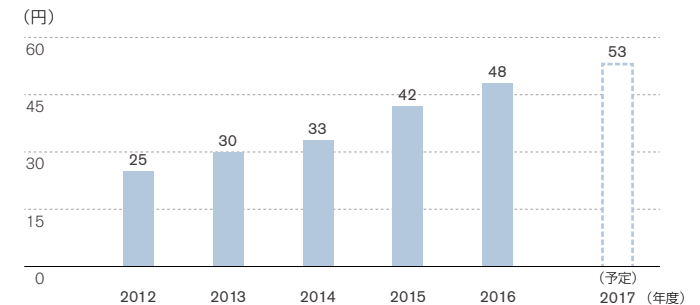
配当

日産の戦略的な取り組みは、グローバル企業として持続可能な価値創造を果たすという長期的なビジョンだけでなく、株主価値を最大化するという日産のコミットメントを反映したのもであります。

2016年度の年間配当金は、1株当たり48円としました。

2017年度の配当金につきましては、現在の経営状況と今年度のリスクおよび好機を鑑みた上で、年間で53円の配当を実施する予定です。

1株当たり年間配当金額



2017年度 業績見通し (中国合併会社持分法ベース)

2017年度の当社のグローバル販売台数は前年比3.6%増の583万台を見込んでいます。

以上の販売見通しに基づき、2017年度の業績予想は、為替前提を1米ドル108円とし、以下の通りとしています。

2017年度連結決算予想

■ 連結売上高	11兆8,000億円
■ 連結営業利益	6,850億円
■ 連結当期純利益	5,350億円